FAXで送信してください

平成29年度　知財総合支援窓口ご利用者様アンケート

FAXで送信してください

よりよい知財総合支援窓口にするために、本アンケート調査にご協力ください。
下記にご回答頂き、FAX・メールで送信してください。どうぞよろしくお願い申し上げます。

アンケート事務局　FAX：03-6733-1140
E-mail：ipmg@murc.jp

Ⅰ．ご利用頂いた知財総合支援窓口の名称と相談した日時をご記入ください。

【知財総合支援窓口の名称】	【相談した日】	（窓口使用欄）
兵庫県知財総合支援窓口	平成　　年　　月　　日	

Ⅱ．ご利用頂いた貴社名と利用方法をご記入ください。

【貴社名】	【利用方法（あてはまる番号1つに○）】
	1．窓口を訪問した　　3．電話、メール、ＦＡＸ 2．相談員や専門家が訪問してくれた　　4．その他（　　）

Ⅲ．知財総合支援窓口を利用してみての満足度はいかがですか。（それぞれあてはまる番号1つに○）

	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満
①知財総合支援窓口設置場所の利便性（アクセス）	1	2	3	4	5
②建物に入ってから知財総合支援窓口の場所までの誘導・標識の適切さ	1	2	3	4	5
③対応した相談員の言葉遣いや傾聴の態度	1	2	3	4	5
④対応した相談員の説明のわかりやすさ	1	2	3	4	5
⑤対応した相談員のアドバイスは事業や経営実態を踏まえたものであったか	1	2	3	4	5
⑥対応した相談員のアドバイスは事業活動の参考になったか	1	2	3	4	5
⑦知財総合支援窓口の総合的な満足度	1	2	3	4	5

※4（やや不満）もしくは5（不満）を選択された場合は、その理由についてもあわせてご回答ください。

Ⅳ．知財総合支援窓口を利用したことによって、貴社における変化がありましたか。（それぞれあてはまる番号1つに○）

※ここでの「知財活動」とは、企業において知的財産制度を利用して知的財産を取り扱う活動のことで、例えば以下のようなものを指します ・特許等の出願対象の選別、出願から権利化までの手続き ・ノウハウなどの秘密情報の管理、知的財産のライセンスや侵害対応 ・上記に関する社内方針・規程、社内体制の整備や外部専門家の選定など	そのように変わった	やや変わった	変わらない	変化したかわからない	今回の相談とは関係がない
①知財活動の目的、経営上の位置づけを明確にできた	1	2	3	4	5
②これまで気付いていなかった経営上の課題を認識できた	1	2	3	4	5
③すでに認識はしていた課題の再確認や優先順位付けができた	1	2	3	4	5
④知財活動に必要な出願等の手続き、規程・書式類の整備ができた	1	2	3	4	5
⑤知的財産に関する制度や実務の更なる理解が進んだ	1	2	3	4	5

任意　*※これまでに窓口の相談員や専門家と複数回面談していて、以下の⑥～⑨に関する変化が出てきた場合もしくは期待した変化が見られない場合には、⑥～⑨についてもあわせてご回答ください。*

⑥これまでの支援を通じて、知財活動の意義を社内に浸透させることができた	1	2	3	4	5
⑦これまでの支援を通じて、知財活動を推進する組織体制・役割分担が明確化できた	1	2	3	4	5
⑧これまでの支援の中で社外の専門家や関係機関と連携することで、事業が活性化した	1	2	3	4	5
⑨これまでの支援が販路・取引先の開拓のきっかけとなり、事業が活性化した	1	2	3	4	5

Ⅴ．知財総合支援窓口において、相談員とは別途の弁理士・弁護士・中小企業診断士等の知財専門家に相談をした場合、あるいは知財総合支援窓口以外の支援先を紹介された場合は、下記にご回答ください。

【専門家に相談した場合（あてはまる番号全てに○】	【支援先を紹介された場合（あてはまる番号全てに○）】
1．自社概要だけでなく課題認識も十分に把握していた 2．自社概要については十分に把握していた 3．自社のことをあまり知らなかった 4．自社のことを全く知らなかった	1．自社概要だけでなく課題認識も十分に把握していた 2．自社概要については十分に把握していた 3．自社のことをあまり知らなかった 4．自社のことを全く知らなかった

★ご記入頂く貴社名を開示することはございませんが、個人情報を含む貴社名が特定されないよう集計処理をしたうえで、統計結果について、開示することがございます。このアンケートは(独)工業所有権情報・研修館から委託を受けている「窓口機能強化事業事務局」が運営しています。その他、ご意見等ございましたら様式自由にて上記あて先までご連絡ください。　（本アンケートのお問い合わせ先：ipmg@murc.jp）

～　ご協力有り難うございました。FAX・メールで送信してください。　～